

第7回マザーレイクフォーラムびわコミ会議の結果概要

◇開催概要

日 時： 平成 29 年 (2017 年) 8 月 26 日 (土)
 <第 1 部>10:00~12:00 <第 2 部>13:15~16:30

場 所： コラボしが 21 (滋賀県大津市打出浜 2-1)

主 催： マザーレイクフォーラム運営委員会・滋賀県

参加者： 211 名

参加団体数： 88 団体

ブース出展団体数： 27 団体

テーマ： 『びわ湖を活かし びわ湖と生きる』



内 容：

【第一部】みんなつながる報告会 10:00~12:00

ナビゲータ・川本勇 (ユーストン) と佐藤祐一 (琵琶湖環境科学研究センター) による進行のもと、「びわコミ会議」が開幕した。



1 開会挨拶

○松沢松治 (マザーレイクフォーラム運営委員会委員長)

…本日は日本の人たちだけでなく、J A I C A の研修の一環として初めて海外の皆さん、特にベトナムからもご参加いただいている。この会議が滋賀県だけでなく、日本、世界へと琵琶湖を考える大切な機会になっていることを感じている。

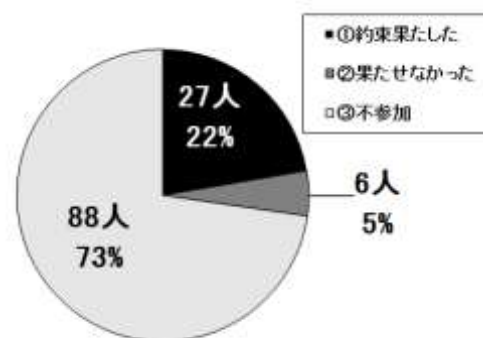
○西嶋栄治 (滋賀県副知事)

…今年から「琵琶湖新時代」と「SDGs」を県政の柱にしているが、県だけでは取り組むことができない。みなさんの多様な考え方が必要。今日のびわコミ会議で得た新たな発見や出会いを皆さんのエネルギーにして、明日の琵琶湖に注いでほしい。



2 昨年度のコミットメント

昨年度のびわコミ会議で各自が書いたコミットメント（約束）を、この1年間で果たすことができたかどうか会場アンケートを行ったところ、昨年度の参加者の約8割が「約束を果たした」と回答。個別インタビューからも、熱心に活動に取り組んで来られた様子が伝わってきた。また、今年初めて参加した人が例年以上に多かった。



3 「みんなつながる報告会」～活動団体4団体からの報告

次に、以下の4つの団体からの活動報告を行った。

- ① 「淡海を守る釣り人の会」（津熊 操）
“釣り人による清掃活動”
- ② 「生物多様性 湖東地域ネットワーク」（松宮 秀典）
“トンボ 79 大作戦～湖東地域のトンボを救え！”
- ③ 「葭留」（佐久川 長久）
“ヨシと造形”
- ④ 「ビワイチ推進室」（津田 誠司）
“ビワイチの推進について 自転車でバッチリ楽しむ滋賀・びわ湖
ービワイチサークルツーリズムー”



各団体からの報告の後、それぞれの報告内容に関連するデータを、進行役の佐藤祐一が提示した。また、3人のコメンテーターが県や学術フォーラム等の立場からコメントを行うとともに、会場も交えた質疑応答を行った。

コメンテーター

- ・ 西嶋栄治（滋賀県副知事）
- ・ 井手慎司（マザーレイク 21 計画学術フォーラム委員）
- ・ 村上悟（NPO 法人碧いびわ湖）



4 「びわ湖なう」

「びわ湖なう」と題して、参加者に配布された「びわ湖と暮らし 2017」をもとに、琵琶湖の現在の状態について、特にこの1年間で特徴的なトピックについて、石河康久（滋賀県琵琶湖環境部次長）より報告した。



5 「寄付金受領式」

午前中の最後は、今年3月にマザーレイクフォーラム運営委員会へご寄付をいただいた「びわカンゴルフコンペ」「びわ湖チャリティー100km 歩行大会実行委員会」「Flower Produce 一花(ichika)」の3団体の代表者をお招きして、マザーレイクフォーラム運営委員会委員長の松沢松治に対し目録を贈呈いただく寄付金受領式を行った。各寄付団体より、それぞれの取組もご紹介いただいた。



【昼休み（ブース展示）】 12:00～13:15

27団体からブース出展があり、参加者は昼休みの時間を利用して各ブースを見て回りながら、思い思いに出展者との交流を深めたり、情報交換を行った。



【第二部】びわ湖のこれから話さへん？ 13:15～16:30

1 知事挨拶

○三日月大造（滋賀県知事）

…今年のコミットメントは「びわ湖のために山とアユ」と書いた。琵琶湖をより良くするために、山の木々や山での暮らしに関わりに関心を持っていきたい。また、今年はアユが採れず、不漁の原因がよくわからない状況。琵琶湖の健康状態をより良くしていくために、山とアユに関心をもち、力を注ぐ、そんな1年にしていきたい。



2 グループ討論

テーマ別にグループに分かれて、話し合いを行った。まず、話し合いの進め方や留意点等について、司会より説明を行った。続いて、各グループの担当者が紹介され、各担当者が簡潔に各グループのテーマのポイント等を説明した。



- [1] 中野隆弘（びわ湖エコアイデア倶楽部）
「釣り『人』で活かす」…びわ湖への恩返し、感謝の気持ちを込めて。
- [2] 松宮秀典（旭化成住工株式会社）
「湖東地域の連携を活かす！」…湖東地域のトンボを守るため、市民、団体、企業ができること
- [3] 佐久川長久（菟留）・幡野真隆（滋賀県琵琶湖政策課）
「ヨシを活かす」…話そう！ヨシの使い方。
- [4] 津田誠司（滋賀県観光交流局ビワイチ推進室）
「ビワイチを活かす」…ビワイチの推進について
- [5] 深井鉄平（滋賀県琵琶湖保全再生課）
「学びを活かす」…琵琶湖で学ぶ・琵琶湖を学ぶ
- [6] 馬場奏（同志社大学政策学部（滋賀学生コミュニティ kaname））
「若者の力を活かすは」…若者が滋賀の魅力を発信していくためには？
- [7] 藤田始史（NPO 法人子どもアート（琵琶湖・淀川流域圏連携交流会））
「琵琶湖の魅力を国際化に活かす」…海外に琵琶湖の魅力を伝えるには？
- [8] 奥田昇（総合地球環境学研究所）
「水草を活かす」…どうする？びわ湖の水草問題！
- [9] 壺井克弥（滋賀県流域政策局流域治水政策室）
「水害と生きる」…どうやって水害から命や財産を守る？
- [10] 佐々木和之（環境フォーラム湖東）
「地域フォーラムとのつながりを活かす」…地域フォーラムの現状と今後に向けて
- [11] 青田朋恵（滋賀県農政課）
「琵琶湖と農業（農林水産業）を活かす」…琵琶湖と共生してきた滋賀の農林水産業を世界遺産に！～魅力をみんなで語り合おう～
- [12] 中井克樹（滋賀県自然環境保全課）・岡本佳奈（IVUSA）
「外来種と生きられるか？」…琵琶湖における外来種問題をどうするか？
- [13] 村上悟（NPO 法人碧いびわ湖（ぐるぐるびわ湖プロジェクト））
「せっけん運動を活かす」…石けん運動40周年「未来のセンタク」循環する暮らしへ
- [14] 藤田知丈（東草野まちづくり懇話会）
「水源の森を活かす」…びわ湖水源の里山林を守り活かす次伐型林業
- [15] 嘉田由紀子（びわこ成蹊スポーツ大学）
「琵琶湖周航の歌を活かす」…琵琶湖周航の歌100周年にちなんだ“なぞり周航と”びわ湖音楽祭

各グループの参加希望人数を事前に把握するため、旗挙げによるグループ分けを行った。サブ会場も含め、合計 15 グループに分かれ、それぞれ 80 分にわたって話し合いを行った。各グループ内のファシリテーターの進行により、参加者同士がそれぞれのテーマについて活発に議論を深めた後、最後に「キーセンテンス」をとりまとめた。



3 私のコミットメント

グループでの話し合いを終え、メイン会場に戻ってきたところで、これから 1 年間、自分が琵琶湖のために何をするかを宣言する「私のコミットメント (=約束)」を参加者全員にフリップに記載してもらい、一斉に掲揚した。



4 第二部まとめ

15 グループの代表者が登壇し、グループ内での話し合いの様子と、各グループでとりまとめた「キーセンテンス」を発表した。司会者がフロアからも追加の意見を聞き出し、それぞれのテーブルで話し合われた内容を参加者全員で共有した。



○「びわ湖との約束 キーセンテンス 2017」

- [1] 「釣り『人』で活かす」… 世界一の湖びわ湖でカッコイイ（つり）人になる
- [2] 「湖東地域の連携を活かす！」
… とんぼをモノサシにして、楽しく、わかりやすく地域とつなげる
- [3] 「ヨシを活かす」… もっと身近に！もっとオシャレに！もっと楽しく！
- [4] 「ビワイチを活かす」… ビワイチで活かす琵琶湖と地域の資源
- [5] 「学びを活かす」… 遊んで体験+昔のはなし+科学的調査と教育
- [6] 「若者の力を活かすには」
… 受信力と発信力 楽しみながら活動するとアンテナどんどん広がる！！
- [7] 「琵琶湖の魅力を国際化に活かす」
… 日本といえば、東京、京都、富士山、「びわこ！」
- [8] 「水草を活かす」…水草とのよりよいつきあい方を見つけよう！
- [9] 「水害と生きる」
… 水のこわさと先人の知恵を知り、水害と生きられる人を育てよう！
- [10] 「地域フォーラムとのつながりを活かす」
…連携の目的をより具体的にして地域フォーラムを盛り上げよう
- [11] 「琵琶湖と農業（農林水産業）を活かす」
… 子どもや若者など次世代に伝える 琵琶湖と共生する農林水産業の魅力
- [12] 「外来種と生きられるか？」… みんなで賢く我慢をしよう
- [13] 「せっけん運動を活かす」
… 体験・インパクト・コラボレーション ”洗って楽しい未来のセンタク”
- [14] 「水源の森を活かす」
… 50年先の生き方は、森の中にある。「体験」を「観光」に。
「観光」を「暮らし」に。
- [15] 「琵琶湖周航の歌を活かす」… 美は乱調にあり～異なるものの融合～

最後に参加者全員で、川本勇さんのギターに合わせて琵琶湖周航の歌を合唱し、第7回びわ
コミ会議が終了した。（16:30）